

令和7年度 学校経営計画から

大田区立大森第四中学校
校長 村上 昭夫

学校には、感動がある！

I 本校の教育目標及び使命

教育目標

人間尊重の精神を基調として、広い視野をもって未来を主体的に生き抜く資質を養うため、次の目標を掲げ、全教職員で教育実践に取り組む。

恵まれた環境を生かし、

「自主的で、品の良い、健康的な、努力を惜しまない生徒」を育てる。

【使命】

- 1 「自主的で、品の良い、健康的な、努力を惜しまない生徒」を育てる。
- 2 絶えず学び続ける指導力の高い教職員を育成する。

II 学校経営の基本理念

- 1 全校体制で教育的配慮ある、生徒優先の教育活動を展開する。
- 2 使命感あふれる教職員として、共に育つ教育活動を展開する。
- 3 温かさが感じられ、感動のある教育活動を展開する。
- 4 生徒も保護者も地域も教職員も明るく楽しくなる学校作りを進める。
- 5 「幸せな大人」になるために必要な「未来を切り拓く力」の土台となるものを生徒一人一人に身に付けさせる教育活動を展開する。

III 目指す学校像

- 1 笑顔が絶えない、あたたかで感動のある学校。
- 2 秩序があり、安全・安心を大事にする学校。
- 3 地域と共にこどもたちを育てていく学校。

IV 育てる生徒像

【育てる生徒像】

- 1 思考力・判断力・表現力、知識・技能をバランスよく身に付けている
- 2 学ぶ意欲にあふれ、自ら課題を見つけ、進んで学習する
- 3 夢やあこがれをもち、自ら高い「志」をもって何事にも積極的に挑戦する
- 4 困難なことにくじけず、何事にも根気強く最後までやり遂げる
- 5 人とのかかわりを大切にし、進んで良好なコミュニケーションを図りより良い人間関係を築ける
(あいさつ、礼儀、言葉かけ、笑顔、上質な笑い。)
- 6 尊敬の念、思いやりの心を忘れず、人にやさしくでき、自分と考えの違う人とも理解し合い協働できる
- 7 社会を生きていく上で人として大切な素直な心、感謝の心、反省の心をもち、それを表現できる
- 8 規範意識をもって、社会のルールが守れる
- 9 自分の住む町を愛し、地域の行事に進んで参加したり、地域に積極的に貢献したりする
- 10 自分の健康を自分で管理し、基礎的な体力を身につけ、それを伸ばし、自分の体を大切にしている心身ともに健康である
- 11 「仲間」の喜びを自分の喜びとして感じられ、「仲間」の努力を認め自分も努力し、「仲間と協力し自分らしさを発揮する人

V 本年度の重点

☆教育課程届に示す教育活動について、以下の基本方針を踏まえ厳正に実施し、教育目標を達成する。

☆「コミュニティー・スクール」として、地域、保護者の連携を深め質の高い教育活動を展開していく。また、「部活動地域連携・地域移行モデル校」2年次として実践を図る。

- 1 「自主的で、品の良い、健康的な、努力を惜しまない生徒」を育てるための諸課題を解決していく。
- 2 いじめ問題・不登校問題等生徒問題の未然防止及び当該問題への迅速かつ確実な対応
「いじめは許さない。」「新たな不登校の防止」「相談しようよ。」

- 3 各学級、サポートルームを始めとした特別支援教育、教育活動の各場面での食育の充実を図る。
- 4 特別活動の要素である「人間関係形成」、「社会参画」、「自己実現」（キャリア教育）及び自分の考えを構築し話し合い考えを深める活動を教育活動全般で意識して指導に当たる。

VII 基本方針

* 「おおた教育ビジョン」の理念「笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育てます」に基づき、学習指導要領の趣旨の実現を図る。人権尊重を基盤に「学校には、感動がある」「いじめは許さない」「相談しようよ」をキーワードとし、生徒・保護者や地域の信頼に応えていく。また、コミュニティー・スクール（地域とともにある学校）として、SDGsを意識して教育活動を展開する。

1 持続可能な社会を創り出すグローバル人材の育成

(1) 課題を解決する力、新たな価値観を創造する力、主体的に考え、行動し、協働していく力、情報活用能力を育成し、予測困難な未来社会を創造的に生きる力を身に付けさせる。そのために、全教育活動の中で生徒に「思考」を促す。また、3つの「聞く力」（聞く・聴く・訊く）を育成し「思考・判断・表現」力の向上を図る。また、令和11年度からの中学校版「おおた未来づくり」の全校実施に向けたSTEM教育等の教科等横断的な学びの推進を行い、創造的な資質・能力の育成に向けた、教科「おおたの未来づくり」の充実を目指す。

(2) 英語力の向上とコミュニケーション能力、郷土の伝統・文化の尊重と、異なる文化の価値を理解し共に生きる態度、持続可能な社会（SDGs）を形成していく態度を育て、世界とつながる国際都市おおたを担う人材を育てる。

(3) 道徳教育を始めとした豊かな心の育成、指導工夫改善による誰一人取り残さない確かな学力を身に付けさせるとともに健やかな体作りを実践し、一人ひとりが個性と能力を発揮するための基礎となる力を育成する。

(4) 授業の振り返り、諸調査の結果を活用し生徒一人一人の学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させる。ICTの効果的な活用、MI理論の考え方の活用、家庭との連携、等により、個別最適化・協働学習を進めていく。OJT、校内研修を始め、外部の研修機会を活用し教職員の指導力向上を図る。

2 誰一人取り残さず、こどもの可能性を最大限に引き出す

(1) 「いじめは許さない。」「相談しようよ。」をスローガンする。いじめ対応、不登校の未然防止及び支援の徹底、相談・支援機能の充実を図り、自分らしくいきいきと生きるための学びを支援する。こども一人一人の正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成するなど、未来への希望に満ちた豊かな心を育む。特別の教科道徳の時間を要として道徳教育を一層充実させる。

(2) 教師の授業力・指導力の向上、学校の組織的な運営力、学校における働き方改革による教育職の魅力向上させ、学校力や教師力の向上を図る。

(3) サポートルームとの連携を図り、特別支援教育を充実させる。それぞれが抱える集団生活や学習上のつまづきに応じた自立活動の指導を行う。それにより、生徒の主体的な取り組みを促し、在籍する学級でより良い学校生活を送ることができる力を養う。特別支援教室における指導内容や方法を踏まえて、特別支援教室を利用する生徒に関わり、指導の効果を高める。

(4) 一人一人の生徒の状況に応じて適切な支援を行うため、関係機関との連携により環境整備を行う。安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と働き方改革を含め良質な教育環境を作る。教師の授業力の向上、学校の組織的な運営力、学校における働き方改革による教育職の魅力向上させ、学校力教師力の向上を図る。

(5) 魅力ある学校施設、可能性を引き出す学習環境、安全・安心の確保を充実させ、柔軟で創造的な学習空間と安全・安心な教育環境を整える。

(6) 人権尊重の態度を養い、規範意識を高め、相互に認め合いながら行動できる態度や能力を育成することに重点をおきながら推進する。テーマ「未来を幸せに生きる」に関連付けた総合的な学習に取り組むとともに、スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上、食育の推進など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上を目指すとともに食育の一層の推進を図る。

(7) 「部活動」について本校教職員の情熱ある指導を支援していく。また、「部活動地域連携・地域移行モデル校」として取組を実施し、成果と課題を把握する。同モデル校事業にかかる部活動指導員等が配置されていない部活動、文化部については、外部指導員の配置希望について優先するなど支援を図る。

3 すべての区民が未来を担うこどもを育て、ともに学び続ける

(1) 学校・家庭・地域が連携してこどもを育てるコミュニティー・スクールとしての活動を充実させ、地域コミュニティーの核となる学校を目指す。

(2) 図書室の充実、多様な学習機会の情報提供などにより、生涯学び続ける環境をつく

(3) ユネスコスクールとしての使命を再確認し、SDGsの達成の視点を取り入れた学習を取り入れる。